

2021 年度 (令和 3 年度) 学校評価自己評価表

中央	中学校区	校番 53	福山市立 西深津小 学校
最終更新日		2021年(令和3年) 4月 9日	

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区	
<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>○児童生徒実態に基づくマネジメントサイクル</p> <p>○課題発見解決型の授業改善</p> <p>○学力向上への指導工夫改善</p> <p>○共感的人間関係の構築、自己肯定感の高揚</p> <p>○開かれた学校とわかりやすい発信</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○子ども主体の学びづくりの中で、主体性が育ちつつある。</p> <p>○小中共通の取組で、中学校生活に円滑に移行できている。</p> <p>●不登校傾向にある児童生徒数の割合が高い。</p> <p>●家庭での学習習慣をより主体的にする必要がある。</p>
<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>スキル・・・ A【知識・技能】 B【思考力・判断力・表現力】 倫理観・・・ C【協調性】 D【思いやり】</p> <p>自分や友だちを大切にしながら、教え合い表現できる子ども</p> <p>1 校区合同で実施する授業研究 2 生徒会による「いじめSTOP集会」や「あいさつ運動」の実施 3 校区校長会・校区教頭会・校区各主任会等を通しての連携</p>

III 自校	
<p>ミッション</p> <p>高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像</p> <p>低</p> <p>中</p> <p>高</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 B お互いの考えを聴き合い、思いを伝え合うことができる。 D 相手の立場に立って、友だちの気持ちを考えることができる。</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、既習の知識と比較することができる。 B 他者の考えを聴き、さまざまな気づきを持ち、自分の考えと比べながら表現できる。 D 友だちの気持ちや周囲の思いを考えた行動ができる。</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、関連付けて考えることができる。 B 他者の考えの意図を感じながら聴き、自分の考えを深め、その変化を表現することができる。 D 相手や場に応じて適切な言動ができると同時に、今、何をすべきかを周囲に提案できる。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>「学ぶ楽しさ、生きる喜び」を持つ子どもの育成</p>	<p>テーマ</p> <p>豊かな対話による一人一人の学びの創造 ～聴き合い学び合いを通して、共に「さぐり」「学び」「決める」～</p> <p>研究 内容等</p> <p>①児童が選択し、自己決定し、共同で学び表現し合う ②児童が課題を設定し、課題解決方法を考え、主体的に展開する</p>
<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉</p> <p>○児童が企画・立案・実行して活動を仕組む力がついてきている。</p> <p>○他学年との活動交流をする中で、相手意識をもった行動が増えてきた。</p> <p>○自主学習の計画を立てることができる児童が増えてきた。</p> <p>●自分の思いを相手にわかりやすく伝えるように表現できない。</p> <p>●自己肯定感が低い傾向にある。</p> <p>〈授業〉</p> <p>○児童が課題を選び、共同して学習していく学習活動ができてきている。</p> <p>●児童が「学びが面白い」と感じる姿を共有できていない。</p> <p>●子どもが学ぼうとしていることに任せきれず、探求させなかったり「正解」を求めたりする授業になることが多い。</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>子どもたちが思いや考えを表現し、意見を取り入れたり、協働して考えたりしながら教え合い表現し、友だちや自分の良さを感じる授業</p>